



学校だより

令和4年9月30日

横浜市立洋光台第三小学校

10月号 校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

協力して取り組んだケヤパオリエンテーリング

校長 金澤 智美

田んぼの稲は穂を垂れ、アサガオやヒマワリはたくさんの種をつけました。それぞれの実りとともに、気付くと秋風が心地よい季節となりました。今日から3日間、秋の夜長に洋光台のまちで行われる「キャンドルナイト2022」に、本校も一部参加させていただくことにしました。まちのあちこちで手作りのキャンドルホルダーに火が灯り、ロウソクの炎がゆらぐ様に心癒されながら、共に穏やかな時を過ごす光景を想像し、楽しみにしています。

9月27日、全校で「ケヤパオリエンテーリング」を行いました。学年縦割りのケヤパグループで校内に設けられたコーナーを回り、課題に挑戦するという方式で実施しました。集会委員児童がアイデアを出して課題となるゲームを企画し、当日の運営も担当しました。

開会式で「協力とは、力と心を合わせて行動すること。一人ひとりが自分の力をもっています。」と全校に向けて話をした後、活動がスタートしました。「こうやってやるんだよ」「いいね」と優しく声をかける上級生の姿。臆することなく、夢中にゲームに取り組む下級生たち。それぞれの児童が、自分にできることを一生懸命行い楽しんでいました。その様子を、教師は微笑ましく見守ることで、和やかに時間が流れていきました。これも、毎月積み重ねてきた、ケヤパ活動の成果と感じます。

6年生や集会委員は、みんなのために行動することの大変さを実感したことでしょう。そして、人の役に立てたことに喜びを感じた児童もいたことでしょう。何よりも、信頼できる異学年グループの友達と楽しい体験を共有できたことに安心したのではないのでしょうか。このような体験こそが、自尊感情を育む大切な一歩となると考えています。

10月には、前期から後期への新たなスタートを迎えます。修学旅行や11月のケヤパ発表月間に向けた学習を充実させる時期です。子どもたちが自分と相手を大切にする心をもち、自分の思いを伝える力や自分で問いを見出し解決する力を高めていけるよう、カリキュラムを工夫しながら取り組んでいきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。